

児童朝会 校長の話 1月23日

先週の木・金・土曜日は展覧会でした。体育館には図工の作品、ランチルームには家庭科の作品、廊下には書き初めが並び、どの作品も一人一人の自分らしさが発揮されて素晴らしい展覧会でした。そして、鑑賞するだけでなく、6年生は1年生を、5年生は2年生を、4年生は3年生を上手に案内してガイドツアーをしましたね。上級生が優しくリードし分かりやすく説明していて立派でした。ますますみんなが仲良くなれました。

さて、最近はとっても寒いですね。1年を24に分けた二十四節季でいくと、1月20日から2月3日を「大寒」と言います。日本各地で1年の最低気温が記録され、1年で最も寒い時期です。



大寒を3つの期間に分けて、1月20日から1月24日を「ふきのはなさく」と言います。地面が凍っていたり雪が降り積もっていたりしても落の花が咲き始める時期です。少しずつ春に向かって動き始めています。

1月25日から1月29日までは「さわみずこおりつめる」と言います。川の水や滝の水など流れる水は普段凍りませんが、流れる水さえ凍ってしまう寒さです。この時期氷の厚さが一番厚くなるそうです。



1月30日から2月3日までは「にわとりはじめてとやにつく」と言います。ハウスの中で飼って1年中卵を産ませる場合は違いますが、外で自然な状態で飼っているにわとりは、



日が長くなってくると卵を産み始めます。ちょうどこの時期が生み始める時期です。最近は少し日が長くなってきて、夕方5時頃でも明るくなりましたね。春が近づいているしるしです。

最後に、可愛い鳥を紹介します。「シマエナガ」という北海道に生息する野鳥です。体重は8g 位ですから小さい鳥ですね。寒くなればなるほど、羽の間に空気をためて丸くふくらみます。それで「雪の妖精」と呼ばれています。



今が1年で一番寒い時期ですが、風邪を引かないように気を付けて元気に過ごしましょう。春がだんだん近づいています。